

『アジア地域研究』創刊に寄せて

『アジア地域研究』を創刊いたします。

岡山理科大学では、去年 2017 年 4 月から、データサイエンスをベースとした経営学部を発足させ、それにともなってこれまでの『社会情報研究』を衣替えして、『アジア地域研究』を発刊することになりました。

この新しい経営学部は、総合情報学部社会情報学科を前身として、それを発展拡張させた学部です。すでにその社会情報学科のときから、日本やアジア地域の歴史、考古、民俗、地理各分野の研究者を擁していましたので、この“資産”をもとに、日本の経済、政治においてこれからますます重要となってくるであろうアジア地域をより深く知ることを意識した研究誌を作ろう、ということで生まれた雑誌です。経営学部のコンセプトも、その英語表記を“Management”としたように、いわゆる会社経営に資することを学ぶというよりも、マーケティング主導による新たな経済的な付加価値を創造できるような人材育成を目指すというもので、そのためには、重要なパートナーであるアジアという地域を、その文化・伝統を含めて深く知ることが必要である、という認識に基づいた教育をしようとしています。そうした学部において研究され、発行される本誌はしたがって、経営学や経済学分野のみならず、政治、社会、そして歴史や民俗に至るまで、アジアに関わる研究を幅広く募集し掲載していくものと考えています。

岡山理科大学のみならず、日本におけるアジア研究の発展に寄与する雑誌となることを祈念いたします。

岡山理科大学 教学支援センター長・教学支援機構副機構長
経営学部 経営学科
志野敏夫